

研究業績

(2016年1月～12月)

麻酔学講座

◆著書

- 1) 恒吉勇男：腎合併症と水代謝異常(溢水・脱水)．術前評価と予測因子からみた周術期合併症対策，pp69-81，克誠堂，東京，2016.
- 2) 谷口正彦，矢野武志，恒吉勇男：全身管理薬－イソプレナリン．麻酔科医のための周術期の薬物使用法，pp206-208，中山書店，東京，2015．(2015年度脱落)
- 3) 谷口正彦，恒吉勇男：全身管理薬－ミルリノン．麻酔科医のための周術期の薬物使用法，pp208-211，中山書店，東京，2015．(2015年度脱落)

◆原著

- 1) Takeshi Yano, Tetsu Yonaha, Koutaro Hidaka, Masumi Nagahama, Tomohiro Koshida, Hiroshi Matsuoka, Masahiko Taniguchi, Isao Tsuneyoshi: A case of severe acute exacerbation of Yokkaichi asthma treated with a vibrating mesh nebulizer. *Respiratory Medicine Case Reports* 19: 83-85, 2016.
- 2) Toyoaki Maruta, Yoshihumi Kodama, Ishie Tanaka, Tetsuo Shirasaka, Isao Tsuneyoshi: Comparison of the effect of continuous intravenous infusion and two bolus injections of remifentanyl on haemodynamic responses during anaesthesia induction: a prospective randomised single-centre study. *BioMed Central anaesthesiology* 16: 110, 2016.

◆総説

- 1) 山下幸貴，恒吉勇男：【麻酔手技に伴う合併症とその対処】術後に両下肢が完全麻痺した硬膜外カテーテルの先端はどこへ？*LiSA* 23: 132-136, 2016.
- 2) 森 信一郎，指宿昌一郎，恒吉勇男：移動体からの生体情報転送の試み online storage を用いた paperChart 活用．*麻酔・集中治療とテクノロジー* 2015: 40-44, 2016.
- 3) 森 信一郎，恒吉勇男：デスフルランの上手な使い方 各科手術での使用：頭頸部外科手術・眼科手術—眼内圧，咽頭喉頭筋群（SAS）への影響—．*日本臨床麻酔学会誌* 36: 460-463, 2016.
- 4) 矢野武志，恒吉勇男：デスフルランの上手な使い方 各科手術での使用：高齢者手術—高齢者への応用の長所・短所—．*日本臨床麻酔学会誌* 36: 479-483, 2016.
- 5) 恒吉勇男：筋収縮の基本原則から筋弛緩を考える．*日本臨床麻酔学会誌* 36: 658-662, 2016.

◆学会発表

- 1) 日高康太郎，長濱真澄，越田智広，與那覇 哲，矢野武志，松岡博史，谷口正彦，恒吉勇男：フ

- レイルチェストと皮下気腫を合併した胸部外傷の呼吸管理に APRV が有効であった一例. 第 43 回日本集中治療医学会学術集会, 2016, 2, 神戸.
- 2) 矢野武志, 日高康太郎, 長濱真澄, 越田智広, 與那覇 哲, 松岡博史, 谷口正彦, 新福玄二, 白阪哲朗, 恒吉勇男: 当院 ICU における重症急性性肺炎の病態と治療効果に関する後ろ向き検討. 第 43 回日本集中治療医学会学術集会, 2016, 2, 神戸.
 - 3) 國武 歩, 児玉芳史, 大久保重明, 矢野都子, 鈴木宣彰, 恒吉勇男: 麻酔深部モニターとしての BIS と entropy の比較. 第 27 回日本臨床モニター学会総会, 2016, 4, 沖縄.
 - 4) 新福玄二, 興梠聡志, 村社瑞穂, 山田尚子, 溜瀧昌美, 恒吉勇男: 非侵襲的動脈圧波形を用いた大動脈弁狭窄症の診断. 日本麻酔科学会第 63 回学術集会, 2016, 5, 福岡.
 - 5) 丸田豊明, 越田智広, 太田尾 剛, 白阪哲朗, 恒吉勇男: オキサリプラチン誘発性神経障害性疼痛では DRG ニューロンの ERK のリン酸化が増加する. 日本麻酔科学会第 63 回学術集会, 2016, 5, 福岡.
 - 6) Takeshi Yano, Masumi Nagahama, Tomohiro Koshida, Tetsu Yonaha, Masahiko Taniguchi, Isao Tsuneyoshi: Efficacy of a tracheal-tube fixation device for prevention of ventilator-associated pneumonia: a prospective randomized controlled study. Euroanaesthesia 2016 Congress, 2016, 5, London.
 - 7) 日高康太郎, 黒木俊介, 長濱真澄, 越田智広, 與那覇 哲, 矢野武志, 谷口正彦, 恒吉勇男: PMX-DHP と AN69ST を使用した腹膜炎術後の septic shock の一例. 第 26 回日本集中治療医学会九州地方会, 2016, 6, 沖縄.
 - 8) 黒木俊介, 日高康太郎, 長濱真澄, 越田智広, 與那覇 哲, 矢野武志, 谷口正彦, 恒吉勇男: 気腫合併肺線維症に抗好中球細胞質抗体関連肺障害を合併し治療に難渋した 1 例. 第 26 回日本集中治療医学会九州地方会, 2016, 6, 沖縄.
 - 9) 恒吉勇男: 循環作動性ホルモンの血管反応性. 第 37 回日本循環制御医学会総会, 2016, 7, 東京.
 - 10) 太田尾 剛, 丸田豊明, 恒吉勇男, 永田さやか, 北村和雄: 周術期におけるアドレノモデュリンと炎症性パラメータとの相関性. 第 37 回日本循環制御医学会総会, 2016, 7, 東京.
 - 11) 須江宣俊, 山賀昌治, 渡部由美, 川崎祐子, 金丸容子, 恒吉勇男: ブプレノルフィン貼付剤とフェンタニル貼付剤の使用中止症例での比較検討. 日本ペインクリニック学会第 50 回大会, 2016, 7, 横浜.
 - 12) 村社瑞穂, 河野太郎, 君安貴寛, 門田瑤子, 田村真由子, 恒吉勇男: 大量レミフェンタニル投与にかかわらず術中異常高血圧を呈した一症例. 九州麻酔科学会第 54 回大会, 2016, 9, 佐賀.
 - 13) 興梠聡志, 村社瑞穂, 君安貴寛, 溜瀧昌美, 恒吉勇男: EMG チューブにより口腔内裂傷をきたした 2 症例. 九州麻酔科学会第 54 回大会, 2016, 9, 佐賀.
 - 14) 君安貴寛, 與那覇 哲, 矢野武志, 谷口正彦, 恒吉勇男: 前縦隔悪性リンパ腫による気道狭窄に対してネーザルハイフローシステムが有用であった一症例. 九州麻酔科学会第 54 回大会, 2016, 9, 佐賀.
 - 15) 溜瀧昌美, 田村隆二, 太田尾 剛, 丸田豊明, 恒吉勇男: 糖尿病および非糖尿病患者における周

術期血糖の上昇に関する因子の検討. 九州麻酔科学会第 54 回大会, 2016, 9, 佐賀.

- 16) 下村 明, 長町茂樹, 山賀昌治, 水谷陽一, 寺田珠沙, 小玉隆男, 平井俊範: In-111 DTPA 脳槽シンチグラフィが診断, 経過観察に有用であった慢性硬膜下血腫合併脳脊髄液漏出症の 1 例. 第 52 回日本医学放射線学会秋季臨床大会, 2016, 9, 東京.
- 17) 黒木俊介, 門田瑤子, 長嶺佳弘, 児玉芳史, 莫根 正, 恒吉勇男: アセトアミノフェン静注薬は小児のレーザー照射手術の術後鎮痛に有用か? ~単施設ランダム化比較試験~. 日本臨床麻酔学会第 36 回大会, 2016, 11, 高知.
- 18) 深尾麻由, 須江宣俊, 新福玄二, 河野太郎, 恒吉勇男: 腹腔鏡下手術中に生じた皮下気腫が遅発性に進展した一症例. 日本臨床麻酔学会第 36 回大会, 2016, 11, 高知.
- 19) 指宿昌一郎, 恒吉勇男: 各歳人口構成による年間手術件数の解析. 第 38 回日本手術医学会総会, 2016, 11, 沖縄.
- 20) 須江宣俊, 内村修二, 黒木俊介, 長濱真澄, 越田智広. 與那覇 哲, 矢野武志, 谷口正彦, 恒吉勇男: 血漿交換療法が奏功した MPO-ANCA 陽性の Goodpasture 症候群の 1 例. 日本蘇生学会第 35 回大会, 2016, 11, 久留米.
- 21) 君安貴寛, 森 信一郎, 指宿昌一郎: 観血的動脈圧の左右差によりトランスデューサー中継ケーブル損傷に気付いた一症例. 第 34 回日本麻酔集中治療テクノロジー学会, 2016, 11, 東京.

◆講演

- 1) 恒吉勇男: 麻酔をとりまく最新のトピックス: 第 53 回宮崎県耳鼻咽喉科懇話会, 2016, 1, 宮崎.
- 2) 恒吉勇男: 筋収縮のメカニズムからみた筋弛緩薬の効果. 沖縄県麻酔科セミナー, 2016, 6, 沖縄.
- 3) 新福玄二: 外傷と麻酔. 第 4 回外傷カンファレンス, 2016, 7, 宮崎.
- 4) 矢野武志, 谷口正彦, 恒吉勇男: 宮崎大学病院における DIC 治療薬の使用状況. トロンボモジュール講演会, 2016, 7, 宮崎.
- 5) 山賀昌治: 「舌痛症をどう診るのか」ペインクリニックの立場から (教育講演). 平成 28 年度日本東洋医学会九州支部宮崎県部会, 2016, 10, 宮崎.